

科目名	仏教文化講読演習Ⅱ 4-2					単位	2.0
担当教員	菱木 政晴						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	3318

●授業のテーマ

法然『選択集』を通して専修念仏思想の原型を探る

●到達目標

本質的な到達目標は、テキストを自ら読み自ら解釈することに関して教師を含めて対等に議論できるようになること。目の前にある目標は、テキストを正確に読み解くこと。

●学習内容(授業概要)

テキスト(いわゆる「教科書」という意味ではなく、研究・解釈の対象文献という意味)を読み取り解釈する。具体的には、学生が自ら読み、自ら解釈する。教師はそれにコメントをくわえ共同学習する。

基本とするテキストは、仏教思想史上きわめてユニークな地位を占めるものであり、その読み方に関しては、既成の概念にとらわれることなく、その衝撃をきちんと受け止めるものにしたい。

●学習内容(授業計画)

1. 講読スタイルオリエンテーション、講読演習Ⅰにつづいて、八、九章と読み進む予定。
2. ~15. 講読演習(講読講義演習のどの時間にどのページを読むかを事前に決めるなどということはないが、学生が自ら読み、自ら解釈することに対して、コメントすることで教師もまた学習にかかわる)。参加するすべての人間の納得に応じてテキストの読み取りが進行していく。ただ、講読演習Ⅰ4-1(前期)と重なることはない。

●準備学習・事後学習の内容

講読である以上必然的であるが、徹底的に下読み予習を欠かさないこと。もちろん、予習しない学生が教室に入ることを拒むものではない。

●成績評価方法・基準

テキストを正確に読み、それを解釈する授業への参加をできるだけ客観的に評価するように務めたい。ただし、万一、大量の受講者があって、すべての受講者に十分な参加が望めない場合は、レポートによる評価もやむをえないかもしれない。

●テキスト(必携)

基本とするテキストは、『選択集』。岩波文庫本『選択本願念仏集』がもっとも入手しやすいと思われる。その他、岩波の日本思想体系『法然・一遍』、真宗聖教全書の三経七祖部、など。

●参考文献/その他

基本とするテキストを十全に理解するために必要な周辺のテキストは、基本テキストの進行にしたがって、その都度菱木が用意します。そうした中で、岩波日本思想体系『鎌倉旧仏教』は、もっていた方がいい。そ

の他は授業時に指示。

●履修上の注意

特にないが、どんなに初歩的な疑問（たとえば、辞書の使い方など）でも、臆せず聞いてみるのが大切。あなたが取るに足らない疑問と思っていたとしても、それがすべての出席者を助けることは、しばしばあることです。